

総務省の主なサイバーセキュリティ予算について

平成28年9月30日

総務省 情報流通行政局

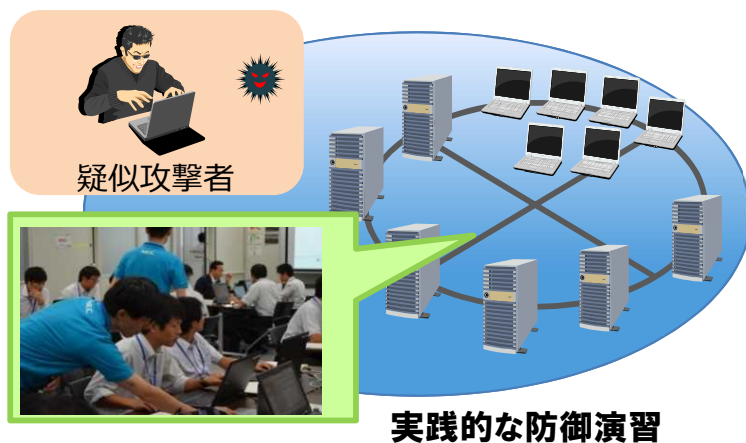
情報セキュリティ対策室

(平成29年度要求)

■ 安心・安全なICT利用環境の整備

【予算】 ナショナルサイバートレーニングセンター(仮称)の構築 35.1億円(28年度 7.2億円)

- 官公庁、地方公共団体、独立行政法人及び重要インフラ企業等に対するサイバー攻撃について、実践的な演習を実施
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の適切な運営に向けたセキュリティ人材を育成
- 若手セキュリティエンジニアの育成



東京大会に向けた人材育成



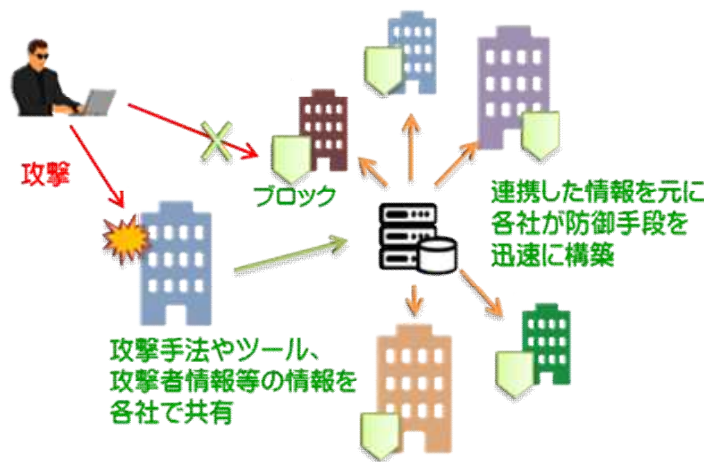
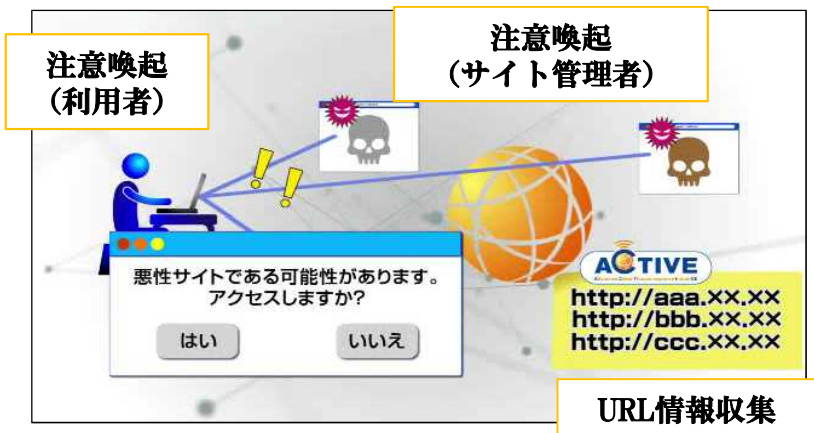
若手セキュリティエンジニアの育成

(平成29年度要求)

サイバーセキュリティ確保のための基盤強化

【予算】 ICT環境の変化に応じた情報セキュリティ対応方策の推進事業 4.0億円(28年度 4.0億円)

- 我が国における情報セキュリティ対策基盤を強化するため、①一般のインターネットユーザのウイルス感染等を防止するための実証実験、②関係事業者間の情報共有、③サイバーセキュリティにおける国際連携の推進といった各種取組を実施



サイバーセキュリティの強化

(平成28年度第2次補正予算案)

【概要】

- 新たなサイバー攻撃の脅威にも対応した、①ネットワーク上のIoT機器の脆弱性やマルウェアの感染について、機器の管理者に対し、適切に注意喚起を実施する取組、②IoT機器とインターネットの境界上にセキュアなゲートウェイを設置し、低機能なIoT機器のセキュリティを確保するための取組に関する実証・検証、③高度なセキュリティ人材育成を目的としたサイバー演習事業等を実施。

【予算額】 5.0億円

